

# 若い世代と 市長との 座談会

12月20日(土) 14:00~15:30

会場：久喜市役所 本庁舎 会議室棟



久喜市の「まちづくり」について、  
市長と直接話してみませんか？

【対象】・令和8年久喜市二十歳の成人式実行委員及び参加者  
・久喜市在住・在勤・在学の16~25歳程度の方

【定員】10名程度（先着順）

問い合わせ先

久喜市役所 市民部 市民生活課 自治振興係

☎ 0480-22-1111(代表)

✉ [shiminseikatsu@city.kuki.lg.jp](mailto:shiminseikatsu@city.kuki.lg.jp)

お申し込みはこちら！



## 参考

### 昨年度実施レポート

# 若い世代と市長との座談会

2024  
12/14

将来を担う若い世代の市民参加の促進を図るとともに、若い世代の意見を市政に反映することを目的として、第2回目となる「若い世代と市長との座談会」開催しました。座談会には、市内在住の大学生8人が参加し、市政に対して、様々な意見を述べました。

## テーマ1

### 久喜市の魅力を再発見！

#### 住み続けたいと思える街にするために

久喜市の好きなところ・良いところは？

- ・東京へのアクセスの良さ
- ・桜など、景色の美しさ
- ・人とのつながり、地域のつながりが深い。
- ・久喜や菖蒲の大きなお祭りが楽しい。

久喜市のもう一息、と思うところは？

- ・公共施設の老朽化。修繕や補強をして改善を。
- ・鷲宮神社前の商店街がシャッター街になってしまっている。盛り上がりがあるようなイベントなどができるように。
- ・久喜マラソンにプラス一走るだけでは物足りない。音楽を取り入れてほしい！

どうしたら久喜市に住み続けたいと思ってもらえる？

- ・SNS等で久喜市の良いところを発信し、まずは久喜市を知ってもらうことが重要！
- ・有名人とのコラボをする。有名人をきっかけに、久喜市を知ってもらえるかも。
- ・目上の人に頼らず、若者が声を上げることで、もっと良くなっていくのでは。
- ・食べ物など、SNS映えるものをつくる。
- ・通勤手当の拡充
- ・給食費の無償化等、子育て世代への支援の拡充
- ・無料で入れる足湯をつくってほしい。
- ・鷲宮コスプレまわりの復活など、盛り上がるイベントを開催するのはどうか。

## テーマ2

### 子どもや若者が元気で

#### 安心して暮らせる街にするために

遊び場所や居場所、困り事や悩み事を相談できる場所などについて提案！

- ・世代を超えて交流できるような、老人ホームと幼稚園の合体施設。
- ・駅付近に勉強や仕事ができる自習カフェがあるといい。
- ・夜、暗い道の街灯を増やす。
- ・学童をもっとオープンな場所に！
- ・代わりになる場所として、子ども食堂や室内の遊び場など、様々な機能を持つ複合施設があるといい。
- ・（食事、スポーツ、ゲームができる場所や、子育て世代が交流できるような場所もあるといい。）
- ・カスタマーハラスメント対策として、名札の改善をする。（本名ではない表記等）
- ・商業施設など、市のイベントや情報を受け取れる場所を増やす。

## テーマ3

### 久喜市の特産品を考えてみよう！

#### ふるさと納税の活用

ふるさと納税のアイデア

- ・菖蒲いちごのイチゴジュース。容器もかわいらしいデザインで。
- ・工業団地に知名度の高い大企業を誘致して、その製品を返礼品をより拡充する。
- ・商店街で使える券や食事券
- ・久喜市の特産品などをモチーフにしたアクセサリ、ステーションナリー（久喜の梨、イチゴ、菖蒲の花、ラベンダー、コスモス、河津桜、ポピー等）
- ・現在の返礼品にある純金小判の使い道は？
- ・小判ではなく、アクセサリに加工してもよいのではないかな。

（その他のアイデア）

- ・宿泊施設の割引券、観光地ツアー、トレーニングジムの無料体験券、無農薬野菜のセット、ボクシンググローブとサンドバッグのセット など

ふるさと納税のPRについての意見

- ・ふるさと納税で得た収入の使い道をより広く周知してはどうか。ホームページなどでも詳しく紹介してはどうか。
- ・久喜市から転出した人向けのふるさと納税カタログを作成するのはどうか。
- ・返礼品について、SNSで積極的に周知してほしい！

## テーマ4

### 官民連携を盛り上げよう！

- ・アニメやゲームの企業とのコラボ。例えば、動画をYouTubeにアップして、久喜市の魅力を発信する！
- ・神社などを擬人化してキャラクターをつくるなど。
- ・金融機関とコラボして、

- ・SNSなど市民が関心がある講座へ講師を派遣してもらう。
- ・農家さんとコラボして、イチゴジュースやアイスを作る。

- ・また、特産品を紹介するイベントを開催する。
- ・音楽フェスと農家の

- ・コラボ。フェスに来た人たちに無料で久喜市産の果物を使ったジュースをプレゼント！
- ・駅やショッピング

- ・モールとのコラボスタンプラリーを実施。スタンプをすべて集めたら旬の果物がもらえる。

